

人間力に満ちあふれ 山形の未来をひらく人づくり



第6次山形県教育振興計画

平成27年5月

山形県教育委員会

第6次山形県教育振興計画の概要

《基本目標》

人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり

知徳体がバランスよく調和し、自立した一人の人間として社会の発展に貢献する総合的な力である「人間力」を磨き、山形県の持続的発展のため、生まれ育った郷土を愛し、地域で活躍し、未来をきりひらいていく人材の育成。

〈テーマ〉

つなぐ
～いのち、学び、地域～

目指す人間像

「いのち」をつなぐ人

自分の存在や生き方を大切にし、同時に他者の生命や生き方を尊重する人。先人から自分へと受け継がれてきた生命の縦糸を次の世代につないでいく人。

学び続ける人

学び続けることを通して知徳体を磨き、自ら考え、主体的に判断する力と、変化や困難に直面しても柔軟かつ的確に対応できる、しなやかに生きぬく人。

地域とつながる人

地域コミュニティの一員として、地域に積極的に参画し続け、地域の未来をきりひらいていく人。ふるさとを愛し、様々な形で地域とつながり続ける人。

広い視野と高い志を持って (全体を貫く基本姿勢)

夢や希望を持って、その達成に向け行動していく姿勢。

地域の窓から世界を見るなど広い視野で物事を考えること、更なる高みや新しい価値の創造に果敢に挑戦する意欲、困難を乗り越えようとする強い意志を持つこと。

基本目標を実現するための施策の体系

(計画期間：平成27年度～平成31年度)

基本方針

＝施策の柱＝

主要施策

基本方針Ⅰ
「いのち」を大切にし、
生命をつなぐ教育を推進する

- 1 「いのちの教育」の推進
- 2 思いやりの心と規範意識の育成
- 3 生命の継承の大切さに関する教育の推進

基本方針Ⅱ
豊かな心と健やかな体を育成する

- 4 教育の原点である家庭教育、幼児教育の推進
- 5 豊かな心の育成
- 6 健やかな体の育成

基本方針Ⅲ
社会を生きぬく基盤となる
確かな学力を育成する

- 7 個々の能力を最大限に伸ばすための環境整備と確かな学力の育成

基本方針Ⅳ
変化に対応し、
社会で自立できる力を育成する

- 8 変化に対応する実践的な力の育成
- 9 社会的自立に向けた勤労観・職業観の育成
～体系的なキャリア教育の推進と若者の県内定着・県内回帰の促進～

基本方針Ⅴ
特別なニーズに
対応した教育を推進する

- 10 特別支援教育の充実

基本方針Ⅵ
魅力にあふれ、
安心・元気な学校づくりを推進する

- 11 信頼される学校づくりの推進
- 12 時代の進展に対応した学校づくりの推進
- 13 私立学校の振興

基本方針Ⅶ
郷土に誇りを持ち、
地域とつながる心を育成する

- 14 郷土愛を育む教育の推進
- 15 山形の宝の保存活用・継承

基本方針Ⅷ
学校と家庭・地域が
協働し支え合う仕組みを構築する

- 16 学校と家庭・地域との連携・協働の推進

基本方針Ⅸ
活力あるコミュニティ形成に向け、
地域の教育力を高める

- 17 青少年の地域力発揮
- 18 地域の教育力を高める生涯学習環境の充実

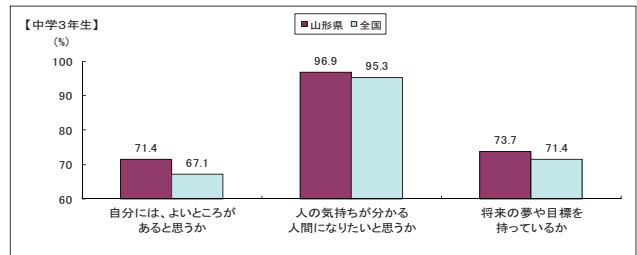
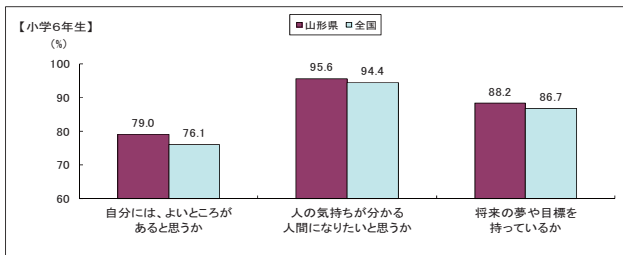
基本方針Ⅹ
県民に元気と活力を与える
スポーツを推進する

- 19 生涯スポーツの推進
- 20 競技スポーツの推進

主要施策 1 「いのちの教育」の推進

- ① 各学校における実情に応じた「いのちの教育」の実践
 幼児期から小・中・高等学校までの一貫した教育プログラムによる実践
- ② 家庭における「いのちの教育」の実践
 子どもの発達段階に応じた子育て、家庭教育の大切さを学ぶ機会の提供
- ③ 地域における「いのちの教育」の実践
 放課後子ども教室や公民館等が実施する自然体験やボランティア、地域貢献活動等の充実

○ 自分自身に関する児童生徒の意識



(文部科学省「平成26年度全国学力・学習状況調査」)

主要施策 2 思いやりの心と規範意識の育成

1 道徳教育・人権教育の充実

- ① 各地域の特色を活かした道徳教育の充実
- ② 学校・家庭・地域が連携した人権教育の推進

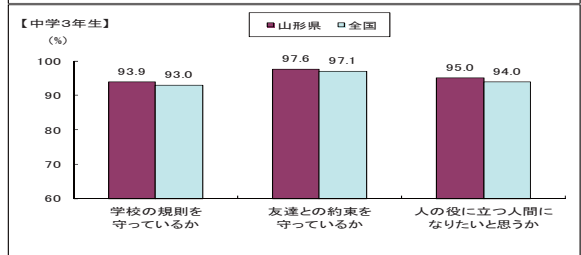
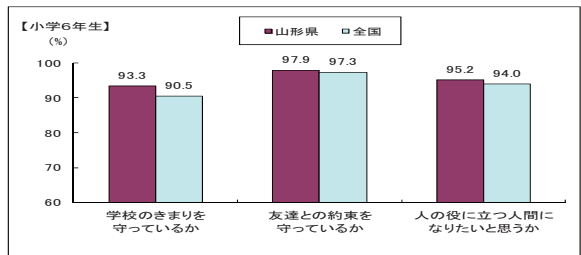
2 いじめ防止に向けた取組みの推進

- ① 児童生徒の主体的な活動の充実、教職員研修の充実、相談・対応のための組織体制の整備
- ② いじめ解決支援チームの設置等による児童生徒への支援・対応

3 生徒指導・教育相談体制の整備充実

- ① 教員の対応能力を高め、各学校における組織的・計画的な生徒指導の推進
- ② 教育相談体制や学習支援体制の整備・強化

○ 規範意識や他者との関わりに関する児童生徒の意識



(文部科学省「平成26年度全国学力・学習状況調査」)

主要施策 3 生命の継承の大切さに関する教育の推進

- ① 次代の親としての意識の醸成に向けた実践的・体験的な学習活動の推進
- ② 地域全体で子育てを見守り支援する体制づくり



【主な目標指標】	現況値	目標値 (H32)
① 児童生徒の自分自身や他者との関わりに関する意識の向上		
○ 自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小6 79.0% (H26) 中3 71.4% (H26)	増加させる
② 不登校の状況改善		
○ 不登校児童生徒の出現率	小 0.28% (H25) 中 2.28% (H25)	減少させる
③ 次代の親としての意識の醸成		
○ 本県独自教材を活用した授業を実施した県立高等学校の割合	高 H27 独自教材作成	100%

主要施策 4 教育の原点である家庭教育、幼児教育の推進

1 家庭教育の充実

- ① 幼児共育※の推進
- ② 子どもの発達に応じた親等への学習機会の提供・充実

2 幼児教育の充実

- ① 幼稚園教諭・保育士等の教育力向上、幼保小の連携促進

※ 幼児共育（ともいく）
生涯にわたる人格形成の基礎が培われる極めて重要な時期である幼児期の子どもを、家庭、幼稚園・保育所等、地域の三者が連携して、「目をかけ・声をかけ・心をかけ」共に育てていく本県独自の考え方。

主要施策 5 豊かな心の育成

1 読書活動の推進

- ① 学校図書館への人的配置や施設設備の充実の促進
- ② 学校と家庭、地域が連携した「読育」の推進

2 文化芸術活動の推進

- ① 児童生徒の文化芸術活動の活性化、優れた文化芸術に触れる機会の提供

3 様々な体験活動・奉仕活動の充実

- ① 伝統芸能の継承・ボランティア活動など、学校における体験活動の取組み
- ② 地域における様々な体験活動への参加促進

主要施策 6 健やかな体の育成

1 健康教育の充実

- ① 学校と家庭・地域が連携した健康の保持・増進の取組み
- ② アレルギー疾患、生活習慣病予防等の健康課題への対応

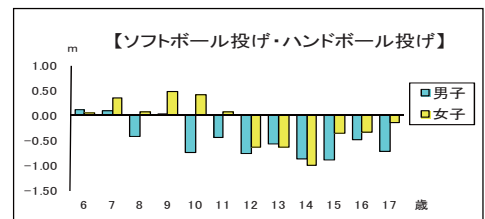
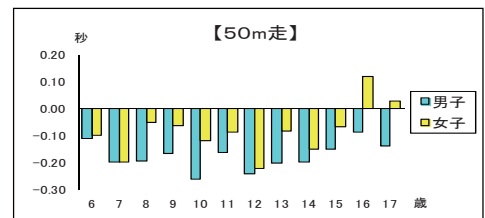
2 食育の推進

- ① 学校教育活動全体を通じた食育の推進
- ② 栄養教諭等の指導力向上

3 体力・運動能力の向上（学校体育等の充実）

- ① 教員の指導力の向上と体育授業の充実
- ② 学校と家庭・地域が連携した児童生徒の運動習慣の改善及び体育活動の充実
- ③ 「1学校1取組み」の実践とYAMAGATA
ドリームキッズ運動プログラムの活用

○ 体力・運動能力テストの県平均値と全国平均値との差（0.00は全国平均）



（スポーツ保健課
「平成26年度体力・運動能力調査報告書」）

【主な目標指標】	現況値	目標値(H32)
① 家庭教育力の向上		
○ 家庭教育講座等を実施した市町村	33市町村(H25)	全市町村
② 児童生徒の読書に対する意識の向上		
○ 読書が好きな児童生徒の割合	小6 75.9%(H26) 中3 69.9%(H26)	増加させる
③ 児童生徒の食習慣の向上		
○ 毎日朝食を摂っている児童生徒の割合	小6 90.8%(H26) 中3 87.5%(H26)	増加させる
④ 児童生徒の体力・運動能力の向上		
○ 新体力テストで、「50m走」「ボール投げ」を重点項目として、全国平均以上の項目数の割合	55.9%(H26)	増加させる

主要施策 7 個々の能力を最大限に伸ばすための環境整備と確かな学力の育成

1 個々の能力を最大限に伸ばすための環境整備

- ① 少人数学級編制の今後の展開の検討
- ② 学校の教育課題への対応（教職員配置の充実）

2 コミュニケーション能力の育成

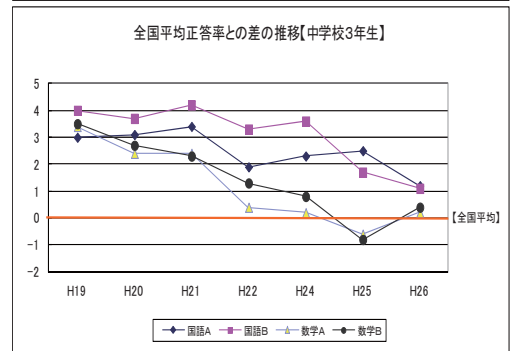
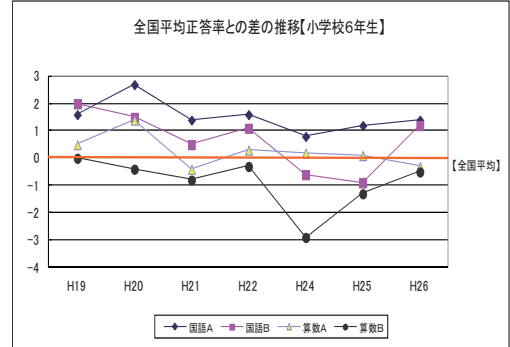
- ① 精一杯考え合い、表現し合う授業づくりの推進
- ② 多様な交流の促進

3 確かな学力の育成

～「習得」そして「探究」へ～

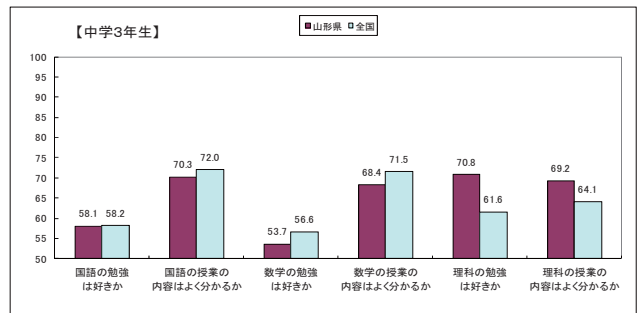
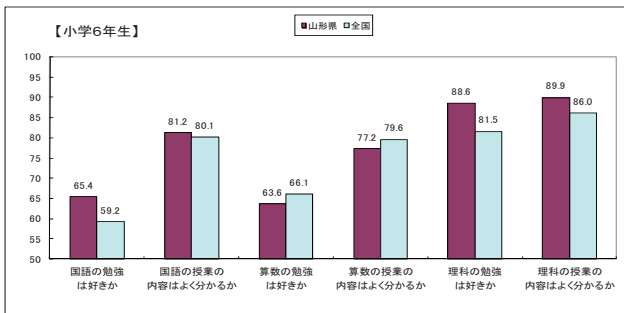
- ① 小・中・高等学校を通じた「探究型学習」の推進
- ② 少人数学級を活かした授業づくり
- ③ 学校と家庭・地域が一体となった学力向上対策の促進
- ④ 思考力を高める問題・モデル授業の開発・発信・活用
- ⑤ スーパーサイエンスハイスクールやスーパーグローバルハイスクールの取組みを通じた探究型学習の推進
- ⑥ 県内大学等への進学促進
- ⑦ 大学入学希望者学力評価テスト（仮称）への対応
- ⑧ 学習のつまずきへの対応

○ 全国学力・学習状況調査結果の推移



（文部科学省「全国学力・学習状況調査」）

○ 児童生徒の国語、算数・数学、理科の理解度、興味



（文部科学省「全国学力・学習状況調査」） 国語、算数・数学：平成26年度調査 理科：平成24年度調査

4 理数教育の推進

- ① 小・中・高・大学の理数教育の連携
- ② 数学指導力向上セミナーの開催や教科指導アドバイザーの配置
- ③ 中核となる理数系教員の養成
- ④ 「科学の甲子園・ジュニア」山形県大会の開催



【主な目標指標】	現況値	目標値 (H32)
① 小・中学校における学力の向上（正答率全国上位を目指す）		
○ 全国学力・学習状況調査で正答率が全国平均以上の科目数	8科目中6科目 (H26)	全科目
② 高等学校における学力の向上		
○ 医学部医学科、難関大学の合格者数	123人 (H26.4)	200人
○ 県内の大学等への県内進学者の割合	28.7% (H26.4)	36.0%

主要施策 8 変化に対応する実践的な力の育成

1 グローバル化に対応した英語教育の推進

- ① 小・中、高等学校における指導モデルの開発・実践
- ② パイロット地区を指定した、小・中・高・大学の連携による取組みの推進
- ③ 教員の英語指導力及び英語力の向上

2 ICT教育の推進

- ① ICT教育アクションプランの作成・実施
- ② 学校のICT環境の整備
- ③ 教員のICT活用力の向上
- ④ 児童生徒の情報活用能力の育成

3 環境教育の推進

- ① 県環境教育指針に基づく環境教育の推進
- ② 産・学・官の連携及び学校間交流の推進

4 高等教育機関や地域産業界との連携強化

- ① 高大連携・高産連携プログラムの支援
- ② 高・産学連携による実践的教育の推進

5 高等教育の充実

- ① 高等教育機関と地域との連携による人材育成の支援
- ② 高等教育機関相互の連携による取組みの支援

6 学びのセーフティネットの整備

- ① 経済的困難を抱える家庭等に対する就学支援・援助の実施
- ② 学習や社会生活に困難を有する者への支援

○ 教員のICT活用状況(全校種) H26.3

	全国	山形県
教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力	80.9%	80.2%
授業中にICTを活用して指導する能力	69.4%	67.8%
児童・生徒のICT活用を指導する能力	64.5%	66.0%
情報モラルなどを指導する能力	76.1%	73.7%
校務にICTを活用する能力	77.0%	81.5%

※「わりにできる」、「ややできる」と回答した教員の割合

○ 学校のICT環境の整備状況(全校種)H26.3

	全国	山形県
コンピュータ1台あたりの児童生徒数	6.5人	5.6人
教員の校務用コンピュータ整備率	111.1%	92.9%
普通教室の校内LAN整備率	85.6%	79.9%
超高速インターネット接続率	79.1%	75.7%
電子黒板のある学校の割合	76.4%	67.6%
校務支援システムの整備状況	80.5%	67.6%
デジタル教科書の整備状況	37.4%	25.6%
学校CIOの設置状況	35.1%	23.1%

(文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」)

主要施策 9

社会的自立に向けた勤労観・職業観の育成

～体系的なキャリア教育の推進と若者の県内定着・県内回帰の促進～

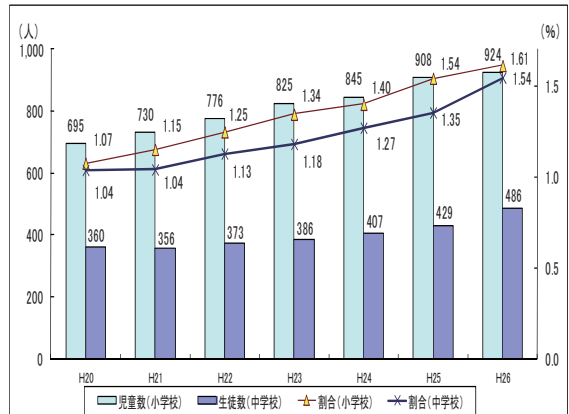
- ① キャリア教育実践プログラムの作成・実践
- ② 職場見学・体験、インターンシップの推進
- ③ 県外進学者のUターンを促す取組みの推進

【主な目標指標】	現況値	目標値(H32)
① 生徒・教員の英語力の向上		
○ 英検3級以上程度の英語力のある中学生の割合	中 30.2%(H25)	50.0%
○ 英検準2級から2級程度以上の英語力のある高校生の割合	高 33.5%(H24)	50.0%
○ 英検準1級以上の英語力のある英語担当教員の割合	中 18.8%(H25)	50.0%
	高 42.1%(H25)	85.0%
② 教員のICT教育指導力向上		
○ 授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合	67.8%(H25)	100%
③ 児童生徒の進路に向けた意識の向上		
○ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小6 88.2%(H26)	増加させる
	中3 73.7%(H26)	
④ 本県高卒者の就職率の向上		
○ 高校生の県内就職率	77.2%(H26.3)	80%以上
○ 就職を希望している高校生の就職率	99.3%(H26.3)	100%

主要施策 10 特別支援教育の充実

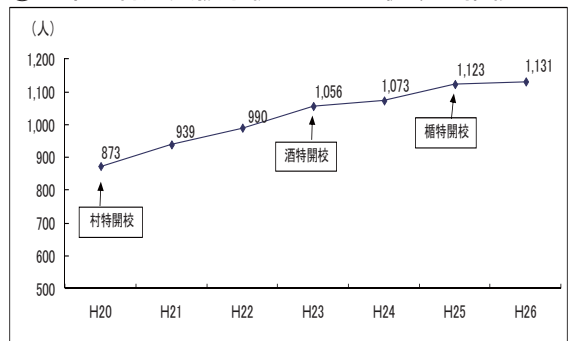
- ① インクルーシブ教育システムの考え方を踏まえた特別支援教育の理解促進と交流及び共同学習の推進
- ② 医療・保健・福祉等と連携した就学前からの支援
- ③ 小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実
 - ・ 校内支援体制の強化及び個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成
 - ・ 特別支援学級の少人数学級編制の実施及び通級による指導教室の拡充
 - ・ 高等学校への特別支援教育支援員の配置
- ④ 特別支援学校における教育の充実
 - ・ 教育課程の工夫・改善、交流及び共同学習の推進等、自立と社会参加を目指した取り組みの推進
 - ・ 特別支援学校の教育環境の改善・充実
- ⑤ 小・中・高等学校及び特別支援学校におけるキャリア教育や職業教育、進路指導の充実
- ⑥ 就労及び地域社会への移行、職場への定着
- ⑦ 全ての教職員に対する特別支援教育に関する研修受講の推進
- ⑧ 特別支援学校及び特別支援学級の教員の特別支援学校教諭免許状の取得促進

○ 県内特別支援学級の児童生徒数の推移



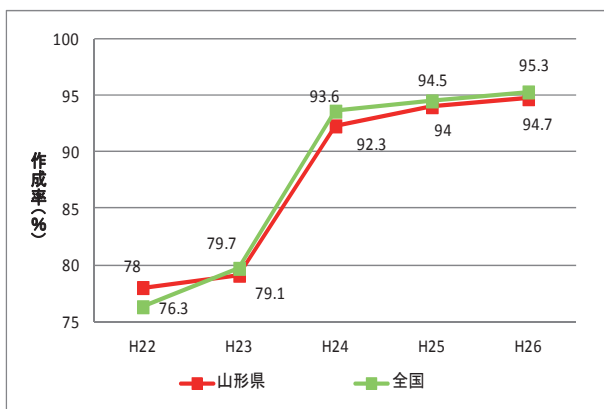
(県教育庁資料)

○ 県内特別支援学校の児童生徒数の推移



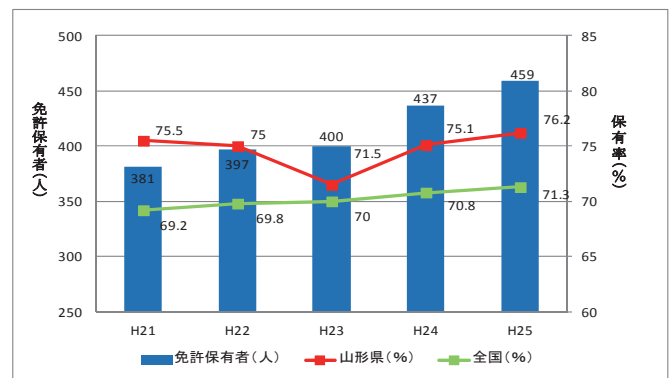
(県教育庁資料)

○ 個別の指導計画の作成状況(公立幼小中高)



(文部科学省「特別支援教育体制整備状況調査」)

○ 特別支援学校における特別支援学校教諭免許状保有状況



(文部科学省「特別支援学校教員の特別支援学校教諭等免許状保有状況等調査」)

【主な目標指標】	現況値	目標値(H32)
① 校内指導体制の整備		
○ 障がいのある幼児児童生徒に対する個別の指導計画の作成率	幼保・小 中・高 94.7%(H26)	100%
② 教員の専門性の向上		
○ 特別支援学校における特別支援学校教諭免許状保有率	特支 76.2%(H25)	80.0%

主要施策 1 1 信頼される学校づくり

1 子どもとじっくり向き合う学校づくり

- ① 教員の担任力の向上
- ② 学校経営の選択と集中（業務のスクラップアンドビルド）
- ③ 教員の多忙化解消

2 適性のある優れた教員の確保

- ① 大学と連携した戦略的な教員養成の展開、計画的な教員確保
- ② 教員採用試験による適性のある優れた人材の確保

3 信頼され、尊敬される教員の育成と能力の発揮

- ① 研修体系の見直しと今日的課題に対応した研修の充実、次世代リーダーの育成
- ② 大学との連携・協働による教員の指導力向上
- ③ 経営能力の優れた管理職の登用、マネジメント能力の高い管理職の育成
- ④ 適切な評価制度の構築

4 体罰根絶に向けた取組みの徹底

- ① 学校現場での体罰防止の徹底
- ② スポーツの指導現場からの体罰防止の徹底

5 教職員の健康管理

- ① 各種健診事業による疾病の早期発見・早期治療
- ② メンタルヘルス対策の充実

6 安心安全な教育環境の整備

- ① 安全安心で良好な学校施設の整備
- ② 安全教育（生活安全・交通安全・災害安全と防災教育）の推進

主要施策 1 2 時代の進展に対応した学校づくりの推進

- ① 県立高校の将来の在り方
- ② 県立学校の活力あふれる主体的な学校づくり
- ③ 市町村による「活力ある学校」づくりに向けた取組みへの支援

主要施策 1 3 私立学校の振興

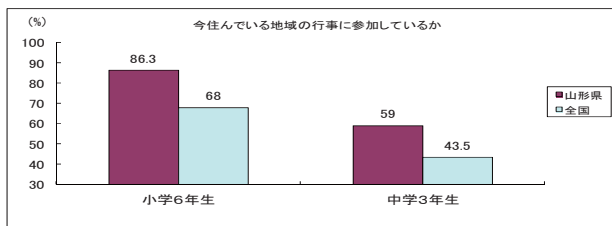
- ① 私立学校の振興・発展に向けた私学助成
- ② 保護者の負担軽減を図るための支援

【主な目標指標】	現況値	目標値 (H32)
① 教職員の健康管理の充実		
○ 健康診断時における要精密検査該当者の精密検査受診率	69.1%(H25)	100%
② 安全安心な教育環境の整備		
○ 学校管理下における事故災害で負傷する児童生徒の割合	小・中・高 7.4%(H24)	減少させる

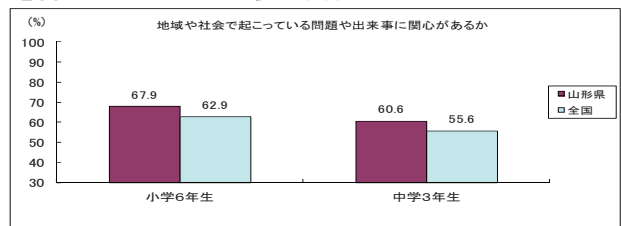
主要施策 1 4 郷土愛を育む教育の推進

- ① 地域の資源を活用した様々な体験活動等の推進
- ② 「わたしたちの郷土・山形」を学ぶ地域教材の作成・活用
- ③ 地域に根ざした学習活動の高校の教育課程への位置づけ
- ④ 地域を知る生涯学習の振興
- ⑤ 県民の歌の普及

○ 地域行事に参加している児童生徒の割合



○ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心を持っている児童生徒の割合



(文部科学省「平成26年度全国学力・学習状況調査」)

主要施策 1 5 山形の宝の保存活用・継承

- ① 地域の貴重な資源である伝統文化の保存・継承
- ② 「未来に伝える山形の宝」登録制度による文化財の保存活用
- ③ 指定文化財の拡大と保存活用の推進
- ④ 埋蔵文化財の保護

【主な目標指標】	現況値	目標値(H32)
① 郷土愛を育む教育による地域に対する意識の向上		
○ 地域や社会をよくするために何をすべきか考える児童生徒の割合	小6 44.8%(H26) 中3 34.5%(H26)	増加させる
② 山形の宝の保存活用・継承		
○ 「未来に伝える山形の宝」登録制度による登録市町村	16件(15市町村)(H26)	全市町村

主要施策 1 6 学校と家庭・地域との連携・協働の推進

1 社会全体で教育を支え、教育に取り組む気運の醸成

- ① やまがた教育の日を契機とした県民の教育に関する気運の醸成
- ② 社会全体で教育を支援する取組みの推進

2 学校と家庭・地域との連携・協働の推進

- ① 開かれた学校づくりの推進
- ② 学校と家庭・地域が連携・協働する環境づくりの推進
- ③ 学校と地域が一体となり、互いに補完し高め合う教育体制の推進

【主な目標指標】	現況値	目標値(H32)
① 学校と家庭・地域との連携・協働体制の構築		
○ 山形方式の総合的な地域本部のための教育プラットフォームの構築	H27から実施	全市町村

主要施策 17 青少年の地域力発揮

1 ジュニア・リーダー活動の活性化

- ① ジュニア・リーダーセミナーの開催
- ② 中学生による地域活動の推進、活躍機会の拡大

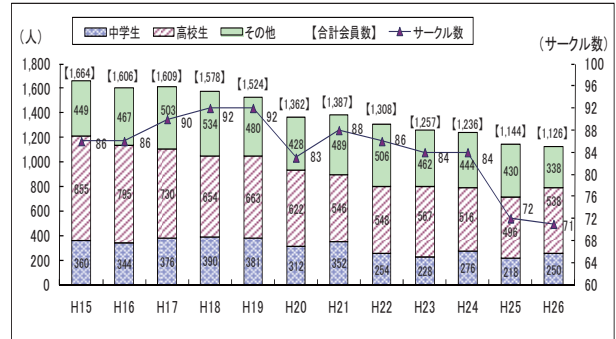
2 青少年ボランティア活動の活性化

- ① 青少年ボランティア活動に関する意識の醸成
- ② 地域青少年ボランティアサークルの支援者等のスキルアップ
- ③ 地域人材の協力による活動支援

3 青年による地域活動の活性化と青年リーダーの育成

- ① 青年の地域活動の活性化、青年が地域活動を始めやすい環境整備
- ② 地域活動に取り組む青年リーダーの育成

○ 青少年ボランティアサークル数、会員数の推移



(県教育庁資料)

主要施策 18 地域の教育力を高める生涯学習環境の充実

1 生涯学習推進体制の整備

- ① 県の生涯学習推進体制の整備
- ② 県民の学習機会の充実

2 公民館等を拠点とした学びと実践の循環

- ① 公民館やコミュニティセンター等の学習情報センター機能の充実
- ② 地域における学びの機会の提供、実践の場の提供

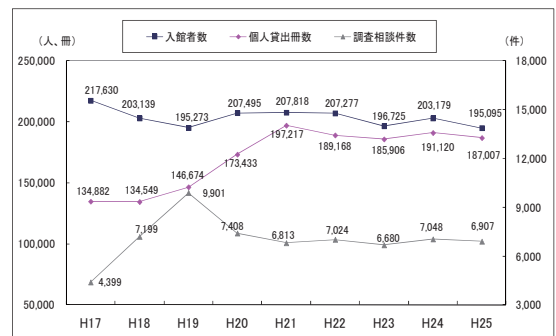
3 社会教育関係職員の育成・資質向上

- ① 市町村の生涯学習の支援、社会教育主事の育成及び研修

4 社会教育関連施設の充実と機能強化

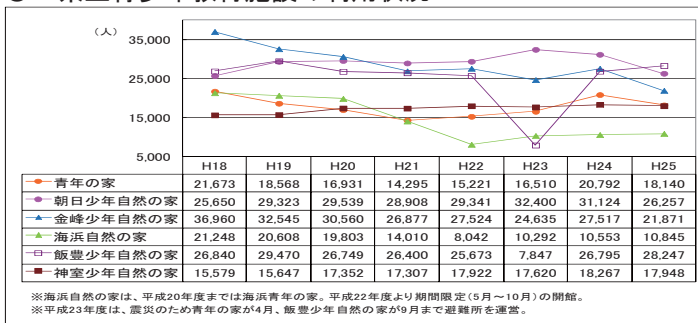
- ① 県青年の家、県少年自然の家、県立図書館、県立博物館の機能の充実・強化

○ 県立図書館の利用状況



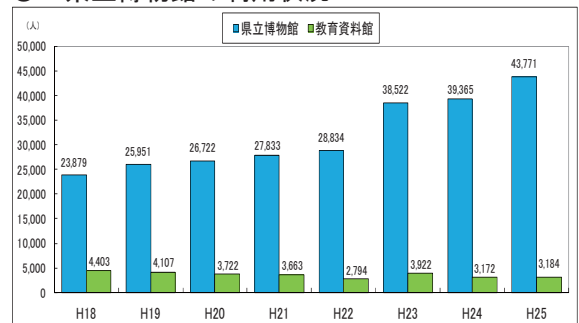
(県教育庁資料)

○ 県立青少年教育施設の利用状況



(県教育庁資料)

○ 県立博物館の利用状況



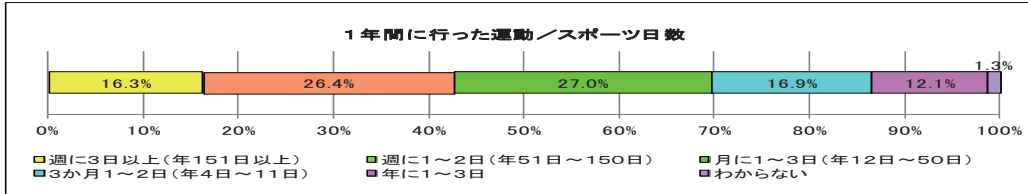
(県教育庁資料)

【主な目標指標】	現況値	目標値(H32)
① 青年による地域活動の活性化		
○ 地域活動に取り組む青年グループ数	30市町村62団体(H25)	35市町村70団体
② 住民等の地域社会への参加度合いの向上		
○ 公民館等で開催されている各種事業・講座等への参加人数	343,910人(H25)	増加させる

主要施策19 生涯スポーツの推進

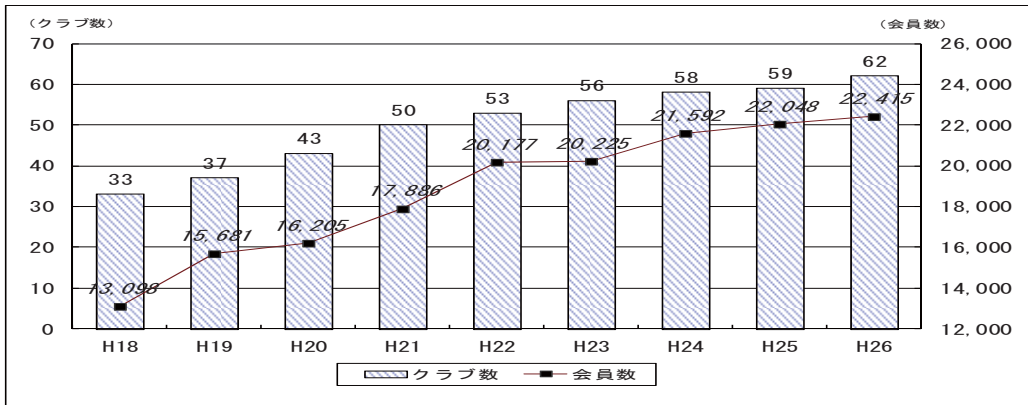
- ① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ② 県民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
- ③ 県スポーツ界における好循環の創出に向けたスポーツの推進

○ 県民のスポーツ実施状況



(山形県広域スポーツセンター「県民のスポーツ実施率等アンケート調査(H25.3)」)

○ 総合型地域スポーツクラブ クラブ数及びび会員数の推移

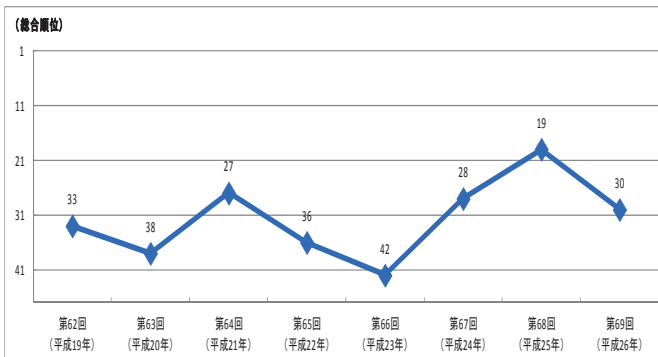


(県教育庁資料)

主要施策20 競技スポーツの推進

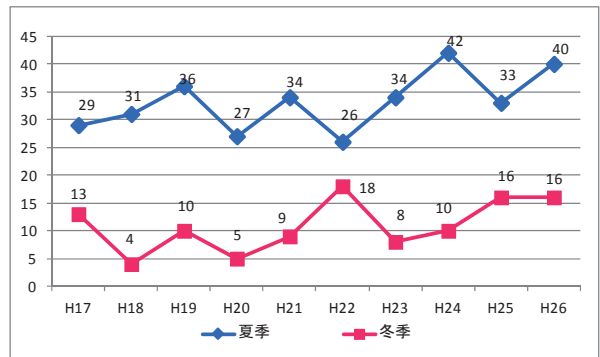
- ① ジュニア期からトップレベルまでに至る戦略的支援の充実
- ② 競技力向上に向けたスポーツ環境の整備
- ③ 全国規模の大会の開催、スポーツを通じた交流の促進

○ 国民体育大会 天皇杯順位



(県教育庁資料)

○ インターハイにおける入賞数の推移



(県教育庁資料)

【主な目標指標】	現況値	目標値(H32)
① 地域のスポーツ環境の整備		
○ 総合型地域スポーツクラブの会員数	22,048人(H25)	増加させる
② 競技力の向上		
○ 国民体育大会 天皇杯順位	30位(H26)	20位台
○ インターハイ入賞数	夏季 40(H26) 冬季 16(H26)	夏季 40以上 冬季 15以上